

中学校社会科歴史的分野学習指導案

1. 単元「古代」
2. 単元計画
 - 「日本列島の形成」(1時間)
 - 「縄文時代と弥生時代」(1時間)
 - 「大和朝廷」(1時間)
 - 「聖徳太子の政治と大化の改新」(1時間)
 - 「律令国家」(1時間)・・・本時
 - 「摂関政治」(1時間)
 - 「天平文化と国風文化」(1時間)
3. 本時の主題 「律令制の成立」
4. 本時の目標
 - ① 律令制とはどのような構造なのか理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
 - ② 歴史的資料を読み取る力を身につける。
 - ③ 人々の暮らしを通じて奈良時代がどのような特色を持つ時代なのか理解する。

	教師の指示・発問	教授・学習活動	提示資料	学習内容	留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・この歌はいつの時代に書かれたか？また、歌に登場する寧楽の都の都はどこか？ <p>「青丹（あおに）よし寧楽（なら）の都は咲く花の薫ふがごとく今盛りなり」 小野老（おののおゆ） -現代語訳-</p> <p>「青丹（あおに）よし（枕言葉）奈良の都は、咲く花の色香が艶やかに匂い映え、今真っ盛りだ。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> T. 発問する P. 答える <ul style="list-style-type: none"> T. 説明する 	①写真1, 和歌（奈良の都の繁栄を表すもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌が作られた時代背景を認識させる。 ・奈良時代に対するイメージをわかせる。 ・発問に対して予想される生徒の答えを書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に発言できる雰囲気作りの為、和歌を示す際はヒントを出さない。 ※和歌の文章は、読みやすいように仮名をふっておく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・この写真からわかることは何でしょう。 ・この家にはどんな人が住んでいたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> T. 発問する P. 答える <ul style="list-style-type: none"> T. 発問する P. 答える 	①写真2.大極殿 ①写真3.長屋王邸宅	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな建築物登場など奈良の都が繁栄していたことを認識させる。 ・都に住む貴族は広い家に住 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資料を読み解く力を身につけさせるため、事項や背景など一つ一つ丁寧

	<ul style="list-style-type: none"> どのような暮らしをしていたか？ <p>● なぜ貴族は贅沢な暮らしができたのだろうか？</p>			<p>み、良い暮らしをしていた。</p>	<p>に見る。</p>
展開1	<p>○ 貴族と農民の衣食住を比較しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 図1の写真を比べてどのようなことが分かりますか。気付いたことをワークシート(1)に書いてみよう。 <p>※貴族の衣なら衣に注目させ深堀させる。回答に対して具体的に一つ一つ丁寧に読み取らせる。</p>	<p>T. 発問する P. 作業する P. グループワーク(班) P. 発表する(クラス)</p>	<p>②図1 貴族と農民の衣食住 ③ワークシート(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 貴族と農民の生活には大きな違いがある。 貴族は優雅な生活をおくっているのに対し、農民は質素な生活をおくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員の意見を聞くため、ワークシートに考察させる。その後班の中で意見交換を行い、クラス全体で共有する。 グループワークがスムーズに進行するよう、事前に役割分担を明確にしておく。
展開2	<p>【仮説づくり】</p> <p>○ なぜ貴族と農民の生活には違いがあるのでしょうか。理由を予想しワークシート(2)に書いてみよう。</p> <p>【検証】</p> <p>○ 律令制ができたことによる社会の変化をみていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> この時代の税制度と税の流れから読み取れることは何でしょう。グループで話し合ってみよう。 	<p>T. 発問する P. 作業する P. グループワーク(班) P. 発表する(クラス) T. 板書する(貴族・農民を2分割して板書) T. 説明</p>	<p>③ワークシート(2)</p> <p>②図2.3.4(税に関するもの) ↑ 全員に同じプリントを渡す 班ごとに役割を決</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発問に対して予想される生徒の答えを書く 貴族には特権があり税が免除されていた。 農民は経済的に貧しく税負担が大きかった。 6歳以上の男女に口分田が支給され、国府へ納めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見が出ないということがないようにヒントを出す。 自由に予想させ仮説を立てさせる。 用語説明で終わらせないように、資料を一つ一つ丁寧に見ていき検証していく。 税の流れを理解することが本時の重要部分であるため、より丁寧に

			めて検証させる 1班： 図1等	<ul style="list-style-type: none"> 役割が細分化され組織化されていた。 	流れを説明し把握させる。
終結	<p>●なぜ貴族は贅沢な暮らしができたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴族や農民にとって律令制はどのようなものだったのだろうか。農民にとって律令制下での暮らしは幸せだったのか。 	<p>T. 発問する P. 答える</p> <p>T. 発問する P. 答える</p> <p>T. 説明</p>	②図5 律令制下のピラミッド型構造図	<ul style="list-style-type: none"> 貴族が律令制下で贅沢な暮らしを享受する一方、農民は重い税金により貧しい暮らしを余儀なくされた。 律令国家は、土地と人を天皇が統治する中央集権体制であり、ピラミッド型の構造をしていた。 貴族の贅沢な暮らしは、農民の労働の上で成り立つものであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 律令国家成立の背景をわかりやすくまとめ、説明する。